

平成29年度第1回練馬区立美術館運営協議会 要録

日時：平成29年11月24日（金）午後3時

場所：サンライフ練馬3階研修室

出席委員 粟津則雄会長、高橋幸次副会長、
青木茂委員、伊豆井秀一委員、佐藤康宏委員、島田紀夫委員、
内藤正人委員、笠原こうぞう委員、橋本けいこ委員、岩瀬たけし委員、
山田かずよし委員、前田尚子委員、須藤麻世委員、齋藤宜子委員、
吉田巳蔵委員、島田紘一呂委員、江川誠志委員
区職員 木村地域文化部長、小金井文化・生涯学習課長

課長：本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
ただいまから、平成29年度第1回練馬区立美術館運営協議会を開催いたします。それでは、はじめに木村地域文化部長よりご挨拶申し上げます。

部長：地域文化部長の木村です。本日はお忙しい中美術館運営協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。また、日頃より美術館運営につきまして様々なご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。
今年練馬区が板橋区から独立して70周年を迎え、美術館としても様々な企画展を開催しているところです。特に9月16日は藤島武二展におきまして天皇皇后両陛下にご観覧いただきました。
3月に若林館長が退任した中でも、職員一同力を合わせてがんばっているところがございますが、より一層魅力的な事業展開を図っていくためにぜひ皆様の様々なご意見を頂ければと思っております。最後に、この運営協議会につきましては、来年3月で委員の任期が終了することとなります。皆様にはぜひ、次期協議会にも引き続き委員としてご協力いただきたいと思います。つきましては、次回までに事務局から依頼の文書を送付いたしますので、よろしくご意見の程よろしくお願いいたします。

課長：続きまして、美術館運営協議会委員の変更等に伴う、新委員への委嘱でございます。
委嘱につきましては、机上での委嘱状配布をもって代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。お配りしてある委員名簿をご覧ください。それでは、新たにご就任いただいた委員から、ご挨拶を一言いただきたいと思います。

<各委員紹介と新任委員あいさつ>

課長：ありがとうございました。続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。

<職員紹介>

課長：本日は、美術館の運営にあたる練馬区文化振興協会の同席をお願いしていま

す。4月より若林館長の後任として、練馬区文化振興協会の中村副理事長が館長を兼務しておりますので、館長よりご挨拶と職員の紹介をいたします。

館長：当美術館の運営母体であります練馬区文化振興協会の副理事長を務めておりますが、若林館長の後任という事で4月から館長を兼任しております。どうぞよろしく願いいたします。続きまして、美術館の運営に携わる職員の紹介をさせていただきます。

<職員紹介>

課長：ありがとうございます。それではここからは、栗津会長に議事進行をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

会長：議事に入る前に、委員の出欠状況について、事務局から報告してください。

課長：本日は委員1名から欠席の連絡をいただいております。現在の委員は18名、うち17名の出席でございます。従いまして、美術館運営協議会条例第7条第2項の規定により、本日の協議会は成立いたしました。なお、本日の傍聴はございません。以上ご報告いたします。

会長：ありがとうございます。はじめに、本日の議事の進行についてお諮りいたします。次第の1、平成28年度事業報告から、順次事務局より説明を受け、議題ごとに質問等を受けたいと思いますがいかがでしょうか。

<「異議なし」の声>

会長：それでは、次第の1「平成28年度事業報告」について、説明をお願いします。

館長：ご報告いたします。<「平成28年度事業報告」について説明>

会長：「平成28年度事業報告」について、質問などがありましたらお願いします。

会長：「平成28年度事業報告」について、質問がなければ、承認とさせていただきます。

次に、次第の2「平成29年度事業計画」について、説明をお願いします。

館長：引き続きご報告します。

<「平成29年度事業計画」について説明・・・館長、担当学芸員>

会長：ありがとうございました。「平成29年度事業計画」について、質問等がありましたらお願いいたします。

委員：これまでの展覧会における観覧者数について、見込みと実績が乖離している

ように見受けられますが、観覧者の目標設定はどのようなされているのでしょうか。また目標の観覧者数に達しなかった場合は、検証を行うなど、次の展覧会への活かし方を教えてください。

館長：基本的にはこれまでの展覧会実績を基に、作者の認知度や練馬との関連性による美術館側の期待値も加味した上、それぞれの展覧会ごとに設定しています。

27年度の美術館開館30周年時は、予想を超える多くの方に来館いただきました。28、そして29年度も期待をしていますが、なかなか難しいところもある現状です。

今後も引き続き、見込みと実績の差が縮まるようデータを蓄積し、精度を上げていきたいと思っております。

委員：スクールプログラムの実績について、昨年よりかなりの増加が見られますが、何か特別な取組をされたのでしょうか。

館長：昨年に比べると、回数ごとの参加人数が増えています。

副館長：平成28年度より、学校と美術館を結ぶ「スクールバス」を2台増設しています。こちらの効果については、次回の実績報告で反映できる予定です。

課長：私からも補足です。以前の運営協議会で、学校見学の活性化がされていないといったご意見をいただいております。その後、担当者が、学校の美術の先生方の集まり等に出席し、美術館の情報を大きく発信してまいりました。それが大きく影響して先生方に興味を持っていただけるきっかけとなりました。また、教育委員会でも教育長はじめ校長先生等に働きかけをさせていただきました。

そのような取組の中、学校から美術館に来る交通手段として、美術館でバスを借りる「スクールバス」の導入といった取組の結果がこれから出てくるといった内容になっております。少しずつですが、先生方のご理解も進み、美術館に来館いただき、学校教育の目標達成に向けての方向性が、少しずつ見えてきたところです。こちらの協議会でいただいたご意見をもとに、進めてきた内容になります。

委員：今の点に補足させていただきます。ここ何年間か6月に開催しております「区中研修会」に、毎年、教育普及担当の方が来てくださり、練馬区の美術館の事業および学校関連「スクールプログラム」の紹介をいただいております。具体的な展覧会等についてのご紹介や、意見交換の機会とさせていただいています。また、なかなか日頃美術の教員でありながら美術館に行く時間が取れないということもありますので、昨年度には、研修の一貫として「ティーチャーズディ」のご案内を、各区中学校の美術教員にお送りしました。

会長：「平成29年度事業計画」についてほかにご質問がなければ承認とさせていただきます。以上で本日の議事については、終了します。

次に次第の3「その他」に入ります。事務局から何かありますか。

課長：事務局からです。昨年もご説明させていただきましたが、美術館の老朽化によって大規模改修の時期に入っております。そこで、展示室の拡張等を検討しながら、美術館の「魅力向上検討委員会」の開催報告を行ってまいりました。今年の3月に色々と議論をさせていただき、例えば、サンライフ練馬の一部に事務室等を移転して展示室を増やす、というような事を検討してまいりました。

既存の建物も老朽化が進み、機械や設備など様々なものが老朽化しています。経費の積算や老朽化調査を行ったところ、改修には相当な金額がかかることがわかりました。そこでもう一度、様々な角度から意見を伺い、より良い改修に向け、現在も内部検討を行っております。今後、建築条件などを整理しながら、美術館の運営も含めて検討会を出来れば今年度内に立ち上げ、他に誇れる施設にしていきたいという結論に達しています。

これにつきましては、進捗状況を適宜ご報告しながら確定していきたいと思っておりますので、ぜひお力添えを頂きたいと思っております。

事務局からの報告は以上です。

会長：それでは本日の議題全般に関して何かご質問ご意見等ございますか。

<「異議なし」の声>

会長：それでは、以上で美術館運営協議会を終了いたします。
次回は来年3月の開催を予定しております。
ご協力ありがとうございました。